

大田原市の学校教育① 「ホップ・ステップ・ジャンプ」の活用

広報おおたわら1月15日号において、「全国学力・学習状況調査」では、本市が好成績を残していることを紹介しました。その本市の学校教育のあり方について、随時紹介していきます。

今回は、本市の独自の教材「ホップ・ステップ・ジャンプ」を紹介いたします。

「ホップ・ステップ・ジャンプ」誕生

市教育委員会では、小学校段階においては「漢字の読み書き」と「計算」が「学ぶ基礎（基礎基本の基礎）」と考え、市内すべての小学校が取り組めるような方を検討するため、平成14年度に「国語研究部会」と「算数研究部会」を立ち上げました。

その研究の中で、市独自の漢字ドリルと計算ドリル（「ホップ・ステップ・ジャンプ」）を作成することとなりました。研究部会で作成した原案をもとに市内全小学校で検討会を開き、すべての教職員がかかわる形で平成15年6月に完成し、市内全小学生に配布しました。

平成17年度の市町村合併後は、湯津上、黒羽地区内の全小学校児童にも配布され、活用されています。

【漢字ドリル】



【計算ドリル】



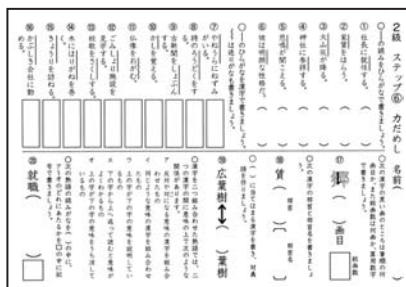
「ホップ・ステップ・ジャンプ」の内容と活用

漢字ドリルは、教科書の記載に沿って、漢字の読み書きの部分と漢字に関する知識（部首、熟語など）を問う部分があります。そして、それを確認する、図1のような「力だめし」もあります。

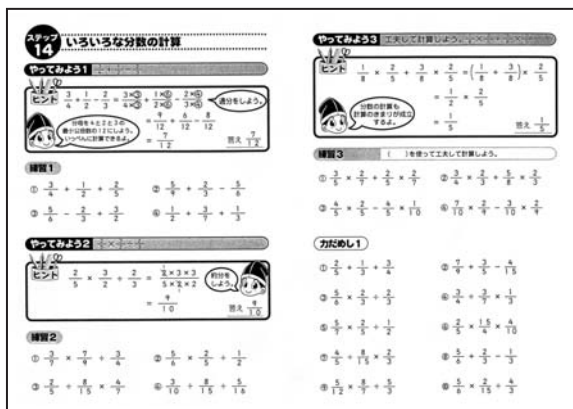
計算ドリルは、図2のように解き方の説明をもとに問題を解いていく部分と、数多く問題を解く部

分がなっています。市内の各小学校では、朝や夕方時間帯に漢字ドリル、計算ドリルそれぞれの学習の時間を設けたり、宿題として取り組ませたりと工夫してドリルに取り組ませています。

【図1 漢字ドリルの内容】



【図2 計算ドリルの内容】



「ホップ・ステップ・ジャンプ」検定試験の実施

「ホップ・ステップ・ジャンプ」には各ステップごとに検定試験があります。漢字・計算とも合格点は90点となっています。各学校では、全員が合格できるように、個別指導を行ったり、再チャレンジの時間を設けたりしています。

漢字ドリルについては、小学校6年間を通して、20級から1級までの級に取り組んでいきます。得意な児童は、学年に関係なくどんな次の級に挑戦することができます。

算数ドリルについては、授業の進度に沿って、各学年ごとに5級から1級まで取り組んでいくこととなります。

保護者や家族の方も検定試験を受けてみませんか

検定試験については、保護者も受検できるようになっています。お子さんと一緒に1級を目指して受検してみたいかがですか。（問い合わせは各学校までお願いします。）



【認定証(例)】



【合格シール】



意欲を高める合格シールと認定証
子どもたちの意欲を高めるために「合格シール」と「認定証」を発行しています。
一つは「合格シール」です。ステップごとの試験に合格したり、進級できたりした時に努力を賞賛するために与えられます。
もう一つは検定試験合格を認定する「認定証」です。「認定証」は級の検定試験の合格を認定し、証明するものです。
スマールステップを大切にし、意欲を持続させ、学習習慣を定着させることに貢献しています。

研究部会で毎年改訂作業

「ホップ・ステップ・ジャンプ」は、市独自の教材のため、小学校の先生方の生の声を反映することができます。

市内小学校から募集した研究部会員の先生方が、各学校の意見をまとめ、毎年改訂しています。そのため、年々内容が充実したものとなっております。



全国学力・学習状況調査A問題で全国トップクラスの結果

「ホップ・ステップ・ジャンプ」での取り組みが、「全国学力・学習状況調査」におけるA問題の結果にもよい影響を与えていると考えられます。平成21年度は表1のように国語、算数・数学ともに全国トップクラスの平均正答率となっております。

こうした小学校での「基礎基本の基礎」の定着が土台となって、中学校での学力向上にもつながっているようです。



【表1 平成21年度全国学力・学習状況調査A問題の平均正答率】

		大田原市	栃木県	全国
小学校	国語 A	71.8	68.8	69.9
	算数 A	82.3	78.9	78.7
中学校	国語 A	80.7	77.8	77.0
	数学 A	68.4	62.8	62.7

公の施設指定管理者が決定

問い合わせ
学校教育課学校教育係
TEL (23) 7113

4月1日から指定管理者に管理運営を行わせる市の施設が決定しました。施設名、指定管理者名、選定方法、指定期間についてお知らせします。指定管理者は、市から指定を受けて公



の施設の運営を代行する団体です。公的な使命を果たしながらも、民間のスタイルをとることで、効率的な運営はもとより、より魅力ある施設運営が見込まれています。

施設の名称	指定管理者の名称	選定方法	指定期間
大田原市福祉センター	社会福祉法人 大田原市社会福祉協議会	指名	5年
大田原市ふれあいの丘	財団法人 大田原市ふれあい学習振興財団	指名	5年
大田原市屋内温水プール	財団法人 大田原市管理公社	指名	5年
大田原市立黒羽中学校 屋内温水プール	財団法人 大田原市管理公社	指名	5年
大田原市立図書館	株式会社 図書館流通センター	公募	5年

問い合わせ
総務課文書法規係
TEL (23) 8702